

中期経営プランに基づく令和6年度計画の上半期実施状況について（概要）

中期経営プラン（2023-2027）（以下「後期プラン」という。）に掲げる事業を着実に推進するための単年度計画として策定した令和6年度計画について、上半期の実施状況を公表いたします。

後期プラン2年目となる令和6年度は、後期プランに掲げた目標の達成に向けて着実に事業を推進していく必要がある中、令和6年度計画に掲げた取組を概ね順調に進捗させることができています。

令和6年度計画に掲げた数値目標や取組内容・目標について達成できるように、引き続き、各取組を進めてまいります。

<主な事業の実施状況>



視点① 京の水をみらいへつなぐ

主な事業	実施状況
方針①つくる－取組② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進 ・高機能な粉末活性炭の注入 など	・原水のかび臭原因物質が過去最高濃度となり、高機能な粉末活性炭を最大限注入したが、一時的に水質基準値を超過（8月中旬～9月上旬） など
方針②はこぶ－取組② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化 ・老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 55 km など	・老朽化した配水管（補助配水管含む）耐震化工事を実施（27 km） など
方針②はこぶ－取組⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化 ・下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km など	・老朽化した管路や重要な管路の中でも、特に破損等のリスクが高い旧規格の管路を対象として、計画的に管路内調査を実施 など
方針④まもる－取組① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化 ・各種計画、マニュアル及びBCPの運用、点検及び見直し ・防災拠点等への仮設給水槽の配備、運用 など	・災害派遣を踏まえたマニュアル等の見直し ・仮設給水槽の購入準備や能登半島地震を踏まえた災害時の運用検討 など

主な事業	実施状況
方針④まもる－取組② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による 災害対応力の強化 ・自助に関する情報発信の充実及び強化 など	・能登半島地震を踏まえ、新たな上下水道に関する防災パンフレットとして、災害時お役立ち冊子「大地震！どうなる？京の上下水道」を作成し、配架先を調整 など 備蓄の必要性や 防災パンフレットについて 詳しくはこちら 



視点② 京の水でこころをはぐくむ

主な事業	実施状況
方針①こたえる－取組② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開 ・スマホアプリの構築・運用開始 など	・スマホアプリ運用開始（10月1日）に向けた運用テストや広報を実施 など スマホアプリについて 詳しくはこちら 
方針①こたえる－取組③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進 ・上下水道事業への理解促進につながるイベント等の実施、広報紙の各戸配布 など	・5年ぶりに一般公開を開催し、6日間で約3万人の来場（4月） など
方針②ゆたかにする－取組① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献 ・琵琶湖疏水記念館における賑わい創出に向けた整備 など	・琵琶湖疏水記念館において「そすいカフェ」（3～5月）や特別展（6～12月）を実施するとともに、1階テラスの工事を実施中 など



視点③ 京の水をささえつづける

主な事業	実施状況
方針①になうー取組① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける 企業力の向上 ・採用活動の充実化 など	・上下水道局独自採用専用サイトの開設や マイナビ転職フェアへの参画 など 採用専用サイトについて 詳しくはこちら 
方針②ささえるー取組① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減 ・管路の事業量・事業費の更なる平準化に向けた調査・検討 など	・施設マネジメント推進プロジェクトチームにおいて、水道・下水道の管路の実態に即した目標使用年数の設定や、重要度に応じた更新の前倒しなどにより、事業量の平準化を検討し、将来の改築更新の事業費の見通しを検証など
方針②ささえるー取組③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化 ・新たな収入源の検討 など	・新たな収入確保に向けて、マンホール蓋のデザイン使用料収入に係る契約を締結(9月)など